

宣言

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会は、平成二十一年四月の発足から十年目を迎え、県内外から七十四人が参加して第十回研究発表会を開いた。テーマは「明治維新一五〇年　　龍馬が目指した新国家」。社会のさまざまな場面で閉塞感が漂う中、龍馬とその時代に学び、人と人とのつながりの大切さを考えようとしたものだ。

特別講演は福井市立郷土歴史博物館館長の角鹿尚計さん。他に、県内外の四人の研究家が日頃の研鑽に基づいた発表を行い、私たちは多くのことを学んだ。

龍馬が逝つて百五十一年。県下では「志国高知幕末維新博」の第二幕が坂本龍馬記念館のグランドオープンに合わせて開かれている。一方、日本を取り巻く北東アジアの緊張感は最大限に高まっている。このような時こそ、私たちは龍馬らの生きた激動と変革の時代に学び、悔いの残らない道を確実に歩んでいきたいと思う。

平成三十年五月二十六日

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会

